

課題NO.3

農村の維持発展を支える法人経営の体質強化

活動期間：令和3年度～令和5年度

対象者：農事組合法人あきう生産組合(役員8人)

チーム員：安達裕美，小野寺和博，菊地敬子，佐藤楓

1 課題の背景・ねらい

(1) 背景

- 設立：平成28年にJA出資型法人として設立（前身：秋保転作組合）
- 構成員：22人(理事7人， 監事1人)
- 経営規模：水稲12ha， 大豆50ha， そば25ha
- 排水不良地や土壌タイプの異なるほ場が多く， **水稲・大豆・そばの収量は総じて低い。**
- 大豆を中心に**鳥獣害が多発**し， 収量に影響を及ぼしている。
- **構成員が高齢化**しており， **若い従業員の雇用を計画**しているが， 優秀な人材を確保するため， 魅力ある**労働環境の整備**が必要である。



(2)ねらい

- 水稲，大豆，そばの収量・品質が向上する。
- 新規園芸品目の導入及び規模拡大が図られる。
- 雇用のための受入体制の基礎が整備される。

●数値目標：農産物売上高増加率 R 1 基準年 0

 R 3 3%増 → R 4 5%増 → R 5 8%増
(R3実績9.4%増)

2 活動内容

(1) 水稲, 大豆, そばの安定生産技術支援



水稲

作業適期把握のため、
水稲生育調査ほ場を設置



大豆

R3 土壌分析結果をもとに
施肥設計を変更した大豆
生育調査ほ場の設置



そば

苗立ち状況確認

2 活動内容

(2)新規園芸品目の導入及び定着のための栽培技術支援



そらまめ

- ・ R3.11月中旬に定植(2作目)
- ・ R4.6月上旬より出荷
- ・ 定植, 越冬管理, 防除指導



ブロッコリー

- ・ R4 7月末播種
- ・ 組合として取組開始



いちじく

- ・ R4.4月上旬定植
- ・ 植栽, 病虫害防除指導

2 活動内容

(3) 労務管理基盤の整備支援



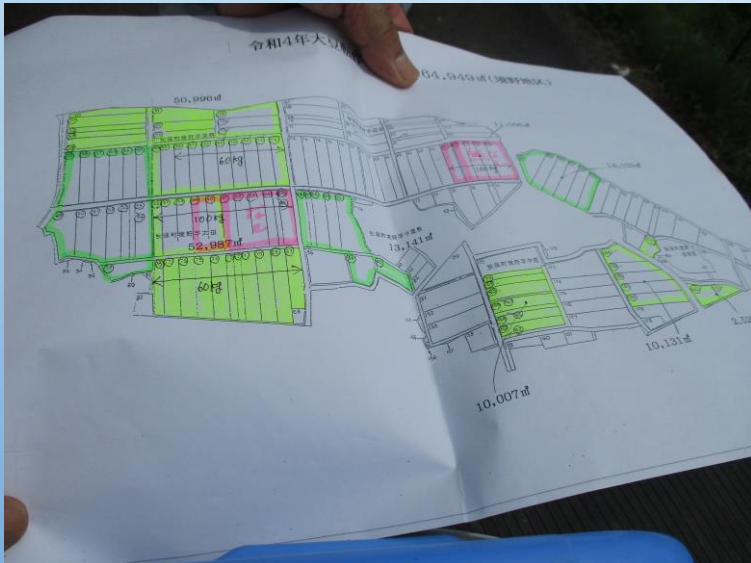
雇用を活用している法人視察
(大郷町 みどりあーと山崎株式会社)



雇用を視野に入れて経営決算分析
の検討

3 これまでの活動成果

- 土壌分析結果等に基づく施肥設計によるコスト低減（大豆）
- 新規園芸品目（そらまめ(15a 156ケース/4kg 約40万円販売), ブロッコリー(15a), いちじく(18a)) 導入
- 経営承継を視野に入れた, 具体的な人材確保方法を理解した
- 経営安定のためには大豆・そばの収量・品質の安定が重要であることを理解した



土壌分析結果に基づく施肥設計：大豆



3つ目の新規園芸品目：いちじく

4 今後の対応

(1) 水稲，大豆，そばの安定生産技術支援
引き続き調査を行い，法人と検討のうえ，
次年度の施肥設計等に反映させる。また，
今年度新たに発生したニホンカモシカに
よる被害状況を確認するとともに，効果
的な対策を検討する。

(2) 新規園芸品目の導入及び定着のための
栽培技術支援

そらまめ，ブロッコリー，いちじくは現
地巡回や技術資料の提供等により支援を
行い，定着を図る。

(3) 労務管理基盤の整備支援

経営承継を念頭に今後の従業員の雇用や
構成員の追加のため組織内での取り組みを
促すとともに，労務管理に対する理解を深められるよう支援する。
さらに，計画している乾燥調製施設について経営シミュレーションを示す。



環境保全米・秋保在来そば



獣害防止柵の点検



ブロッコリー



乾燥調製施設視察